

沼田市鳥獣被害防 止計画について

桑原 敏彦 議員



サル捕獲用のオリ

Q1 現状を踏まえた今後の捕獲強化策について

A1 実施隊が捕獲従事者となり捕獲に取り組んでおりますが、捕獲は技術と経験を要するものであり、捕獲従事者の負担軽減や捕獲に必要な罠等の資材の支給を積極的に行い、捕獲意欲の向上を図り、今後の捕獲の強化につなげてまいりたいと考えております。

Q2 鳥獣被害対策実施隊の隊員数の今後の推移について

A2 隊員数については、都合により狩猟登録を見送る方と、新たに隊に加入される方の補充に

よりほぼ同数で推移しております。今後につきましても、実施隊員の高齢化が進んでいることは認識しておりますが、隊員の負担軽減等を図ることにより、当面は現行とほぼ同様の隊員数で推移していくものと考えております。

Q3 地域における鳥獣対策の体制整備の推進について

A3 沼田市鳥獣害対策協議会を設置し、地域における鳥獣害対策を実施しております。

Q4 鳥獣被害対策におけるドローン等の新技術の導入について

A4 ICT技術を活用した新技

術の導入は、捕獲作業の効率化を図るだけでなく、捕獲関係者の意欲向上につながる重要な取り組みであると認識しております。また、ドローン等による対策は、現在全国各地で実施され、その事例が報告されている状況であり、本市においても、その状況を注視し、今後の対策の一端として導入の研究をしてまいりたいと考えております。

Q5 今後の鳥獣被害対策に携わる専門的知識を持った人材育成の推進について

A5 鳥獣被害対策における専門的知識は重要であり、各市町村

ともに人材不足が課題となっており、認識しております。

Q6 今後の鳥獣被害対策の支援の拡充について

A6 鳥獣被害対策は、交付金を活用して行つてまいりましたが、要望額に対し減額の状態が生じております。しかしながら、地域が被害対策に要する経費の状況は、まだまだ増加する傾向にあることから、県補助金等の活用、補助対象の拡充を検討してまいりたいと考えております。